第２号刑務所ＰＦＩ事業について
＜島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業＞

効率的・効果的な施設運営

☆ＩＣタグによる位置情報把握

☆セーフビュー等の最新機器の導入

☆トリプルフェンス,センサーによる多重保安構造

☆無人自動搬送システムによる配下膳

☆ループプランによる効率的な動線

民間ノウハウを積極的に活用

事業予定地　島根県浜田市

事業者　島根あさひ大林組・ALSOKグループ

大林組，綜合警備保障，日本電気，丸紅

グリーンハウス，PHP研究所，みずほコーポレート銀行　他

犯罪傾向の進んでいない受刑者２，０００名収容

落札金額　約８７８億円
（契約金額　約９２２億円）

国庫債務負担行為限度額との差約１０３億円，約10.1%の削減

平成20年10月収容開始

矯正教育，職業訓練の充実

☆「調査」と「処遇」を一体化させた効果的な処遇を実現

☆労働需要の大きい福祉系職業訓練の充実と社会貢献作業の導入

就労支援の充実

☆就労支援組織を所内に設立し，出所後の就労あっ旋等の支援を実施

特別なケアを要する受刑者の処遇

☆ホースプログラム等のアニマルセラピーを実施

☆事業者と医療法人が協働して設置する社会内処遇施設への特別なケアを要する出所者の受入れを実施

農・林・水産作業の実施

～　地域資源の力を借りて　～

森林管理作業

☆「癒しの森」を構外作業として整備，地域に開放

援農等の農作業

☆ハウスでのバラ水耕栽培

☆茶葉栽培，有機農法

☆耕作放棄田の整備と「昔ながらの米作り」

湾内作業

「共生」から「共創」へ―地域と共に創る施設を目指して―

～構造改革特区制度の活用～

業務の大幅な民間委託

☆職員ポストの約半数が民間人

～　地域雇用の増大　～

島根県に診療所を管理委託

☆眼科診療を地域住民に開放

～　地域医療の充実　～

新しい社会復帰コミュニティの形成

☆保育園等の市民開放施設を設置

（附帯的事業等として実施）

国民に理解され，支えられる刑務所

島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業<事業スキーム図>